

第2回アジア・オセアニア気象衛星利用者会議の開催について

気象庁は、平成23年12月6日（火）～12月9日（金）に「第2回アジア・オセアニア気象衛星利用者会議」を下記のとおり開催します。

気象衛星による観測は、日々の天気の変化から気候変動に至る地球の変化を、地球規模の広範囲でとらえることができることから、災害対策を目的とした台風や集中豪雨等の監視や地球温暖化等に対する気候・環境監視において重要な役割を担っています。また、気象庁では、次期衛星として観測機能を大幅に向上した「ひまわり8号・9号」をそれぞれ2014年、2016年に打ち上げることを計画している他、各国においても同様に新しい衛星の打ち上げが計画されています。

会議には、日中韓及び米国、欧州、ロシアの気象衛星運用機関の代表並びにアジア・オセアニア地域の気象衛星の利用者（主に各国の気象機関・研究機関）及び専門家が参加し、気象衛星の整備・運用計画等の最新情報を共有するとともに、気象衛星データの様々な分野への利用技術に関する交流・議論を行います。各分野・機関における技術向上を通じて、アジア・オセアニア地域各国の気象・防災業務の向上に大きく寄与することが期待されます。

記

主 催： 気象庁

後 援： 世界気象機関（WMO）、地球観測に関する政府間会合（GEO）、
中国気象局、韓国気象庁、オーストラリア気象局

期 間： 平成23年12月6日（火）～12月9日（金）

場 所： 三田共用会議所

発表者： 海外関係機関、研究者 約60名

国内関係機関、研究者 約20名

会議HP（英語）：<http://mscweb.kishou.go.jp/second/>

（参考） 第1回会議 2010年11月、中国・北京で開催

* 当日の取材について

オープニングセッションの撮影及び会議の傍聴は可能です。希望する社は、事前に総務部総務課広報室までご連絡頂くようお願い致します。

本件に関する問い合わせ先：

気象庁観測部気象衛星課

電話：03-3212-8341（内線：2272、4842）

第2回アジア・オセアニア気象衛星利用者会議

会場：三田共用会議所（東京都港区三田2-1-8）

日程：平成23年12月6日（火）～12月9日（金）

プログラム：

12月6日（火）オープニングセッション

開会のあいさつ

10:00 James Purdom, 国際運営委員会議長

主催国、後援機関のあいさつ

10:05 松原仁 国土交通副大臣

10:10 羽鳥光彦 気象庁長官

10:15 中国気象局

10:20 韓国気象庁

10:25 オーストラリア気象局

10:30 地球観測に関する政府間会合（GEO）

10:45 世界気象機関（WMO）

セッション1： 衛星観測の現状と将来

セッション2： 衛星データのアクセスの利便性と利用促進

12月7日（水）セッション2： 衛星データのアクセスの利便性と利用促進

セッション3： 大気、海洋、陸域における気象現象への衛星データの利用

12月8日（木）セッション4： 地球観測衛星の現状とその観測データの利用技術

セッション5： 防災への衛星データの利用

セッション6： 衛星データを利用したシビアウェザーの解析技術と降水観測

12月9日（金）セッション7： 数値予報への衛星データの利用

セッション8： 気候変動監視への衛星データの利用

パネルディスカッション

クロージング

【参考】海外参加機関

世界気象機関（WMO）、地球観測に関する政府間会合（GEO）

衛星運用機関：中国、韓国、米国、ロシアの気象機関、欧州の衛星機関

参加気象機関：シンガポール、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、香港、
インドネシア、オーストラリアの気象機関